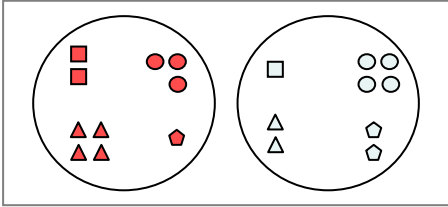
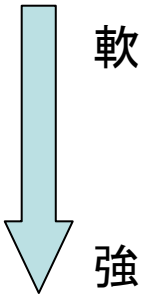
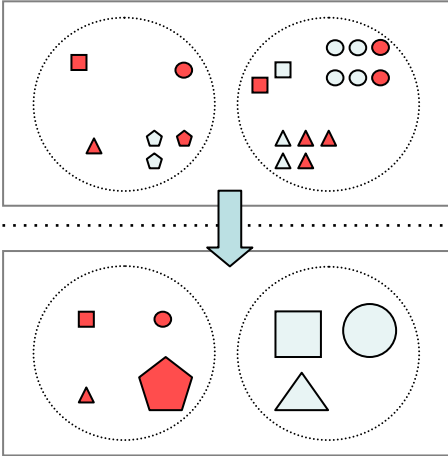
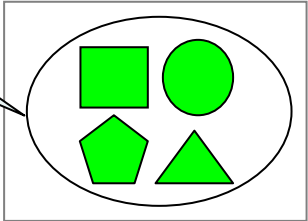


新病院建設までの再編等の進め方

新病院建設までの過渡的な対応として、再編等の進め方についてまとめたものです。

ステップ	診療機能面の変化	想定される状況(イメージ)
① 経営統合		- 一つの経営体となっている状態 - 各病院に医療資源(とくに医師)が分散し、それぞれの医療機関で期待される診療が行われない状態
② 機能連携 		- 各病院間での機能分担がある程度明確になり、医療資源がそれに応じて適切に配分されている状態(例:循環器・産婦人科・救急当直などに当たる医師がどちらかの病院に集中することで、それらの機能が正常化する) - 物品の統一、委託契約の見直しなど経営面の工夫によりコスト面でのスケールメリットが出始める - 各病院間での機能分担がかなり明確になり、医師の確保が進むことによってさらに各病院の対応能力が向上する(例:脳卒中や呼吸器疾患などに対応できるようになる) - 既述②からさらに「スケールメリット」が発揮される - 機能の集中・分担が徹底されることで遊休化する施設・設備、及び各施設間での重複機能(人員・設備など)の統廃合が進む
③ 完全統合 (新病院)		一つの病院として完全に統合し、中核病院として機能が果せる